

## **若林区若林地区民生委員児童委員協議会**

(平成 26 年 9 月)

若林地区には、仙台藩主伊達政宗の本城青葉城とは別に、政宗が晩年を過ごす城として若林城が寛永 5 年 (1628 年) に築城されました。寛永 13 年 (1636 年)、政宗の逝去と共に廃城となりましたが、その地・若林に小城下町が形成され、現在に至っています。江戸時代は伊達家の薬草園、現在は宮城刑務所になっています。

若林地区には 5,600 世帯・22 町内会があり、民生委員・児童委員 21 名 (主任児童委員 2 名含む) で担当しています。3 月 11 日の発災時、同じ若林区でも直接津波被害を受けた沿岸部の町々は壊滅状態になりましたが、当地区は内陸部にあり被害も少なく、災害時要援護者や 1 人暮らし高齢者等の安否確認もさほど混乱することなく実施することができました。

避難所支援活動も 20 日ほどで終了しました。

平成 26 年 4 月、当地区に復興公営住宅が完成し、148 世帯が入居を開始しました。6 月に実施した高齢者世帯調査では、「1 人暮らし、2 人暮らし世帯」が約半数を占めました。この方がたが地域での生活に慣れ、孤立化を防ぐための活動を特に行政と区社協が中心となり取り組んでいます。具体的な復興支援体制の構築、各種ボランティア・地域各団体との連携と協力、情報の共有化等、当民児協も参加・協力・支援を行なっています。具体的には、

- ①若林西復興公営住宅エリアマップ作成配布 (仙台市若林区復興応援隊事業)
- ②復興コンサート (入居者への歓迎コンサート) の開催、各団体協賛協力
- ③毎月開催されるサロン案内 (いきいきふれあいサロン、愛・逢いサロン) 等、その他にも高齢者の相談窓口である地域包括センターと協力連携し、介護予防への支援を行ない、健康で安心して暮らせるよう日々活動しています。